

# 益田市

## 人口拡大計画

ここに希望がある

ここにチャンスがある

平成 26 年 2 月





## 【目次】

1	現状と将来予測	1
2	人口拡大の必要性和目標設定	3
3	計画の概要	5
4	施策の展開	7
	要素1：社会増	
	視点(1) 転入増を図る取組	
	施策群①「地域の魅力を高め、U I ターンを促進する施策」	7
	視点(2) 転出減を図る取組	
	施策群②「企業誘致や事業者支援により、産業を振興し、雇用を創出する施策」	10
	施策群③「高速交通網や住環境を整備し、安心安全で生活しやすいまちづくりを進める施策」	13
	要素2：自然増	
	視点(3) 出生を促す取組	
	施策群④「結婚から出産、育児を切れ目なく支え、子どもを産み、育てやすい環境の整備を図る施策」	17
	施策群⑤「子どもの健やかな成長のため、教育環境の整備を図る施策」	19
	視点(4) 健康長寿を進める取組	
	施策群⑥「医療体制の充実、健康づくりの応援を通じ、健康長寿のまちづくりを進める施策」	21
	要素3：交流人口拡大	
	視点(5) 交流人口拡大のための取組	
	施策群⑦「豊かな自然や歴史・文化を活かし、観光振興、都市間交流などにより交流人口の拡大を図る施策」	24
5	計画の推進体制	26

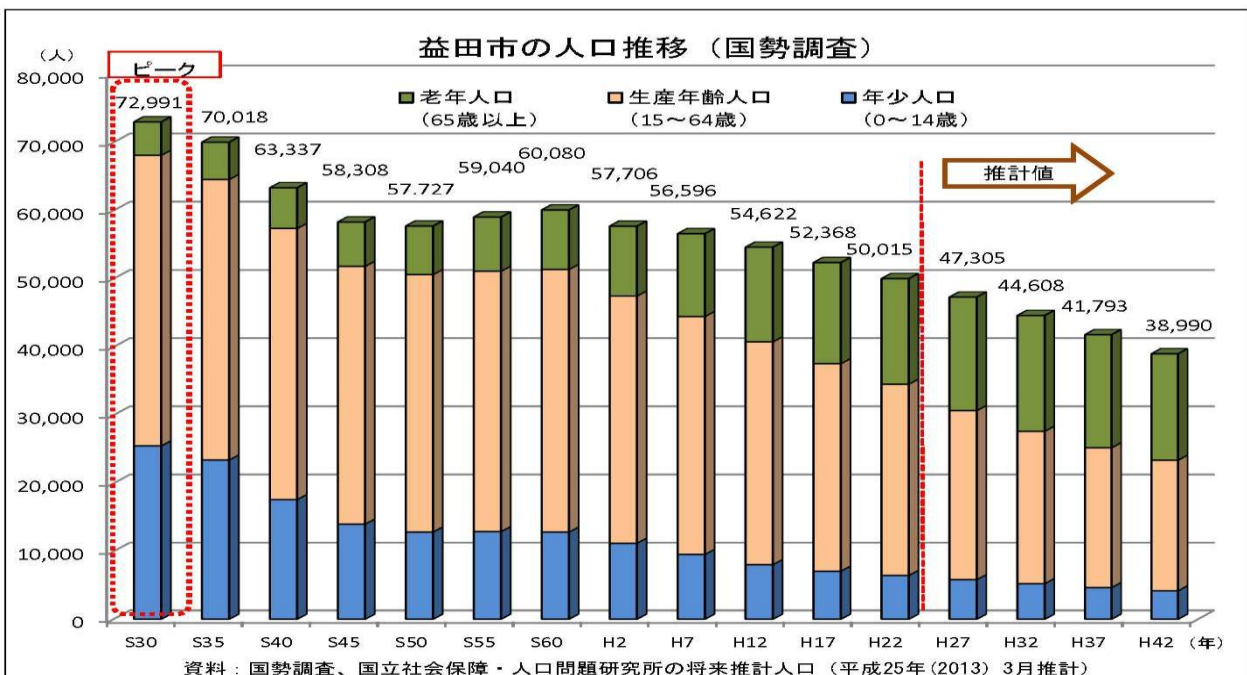
# 1 現状と将来予測

日本の人口は、2008年に減少に転じ、私たちは、かつて経験したことのない本格的な人口減少社会を迎えようとしています。平成24年3月に国立社会保障・人口問題研究所から発表された日本の将来推計人口では、2010年（平成22年）に1億2,800万人の人口が、2048年には1億人を切り、100年後の2110年には5,000万人を下回るという驚くべき予測が示されています。

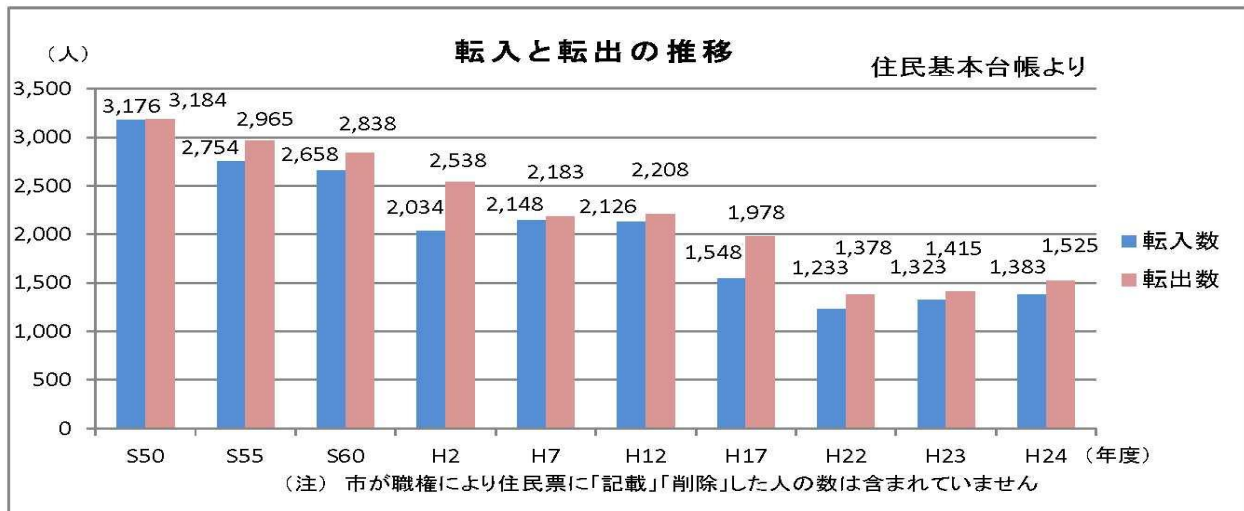
本市においても、国勢調査による人口推移をみると、昭和30年の72,991人をピークとして減少に転じ、昭和50年から60年にかけて一たん増加したものの、その後は減少が続いています。ここ10年間の推移を見ても平成12年の54,622人から平成22年は50,015人と4,607人が減少しています。今後の予測では、人口移動による増減を加味しない場合には、平成32年には46,000人台、平成42年には42,000人台に、人口移動を加味すると、平成32年には44,000人台、平成42年には39,000人を割り込むと推計されています。

また、人口構成に着目すると、少子化と高齢化の急激な進行により、14歳以下の年少人口が著しく減少し、65歳以上の高齢者の占める割合が急激に高まるとともに、高齢者の絶対数が大きく増えています。平成27年には戦後の日本社会を牽引してきた団塊の世代が全て65歳以上となり、15歳から64歳までの生産年齢人口の減少が一気に進みます。

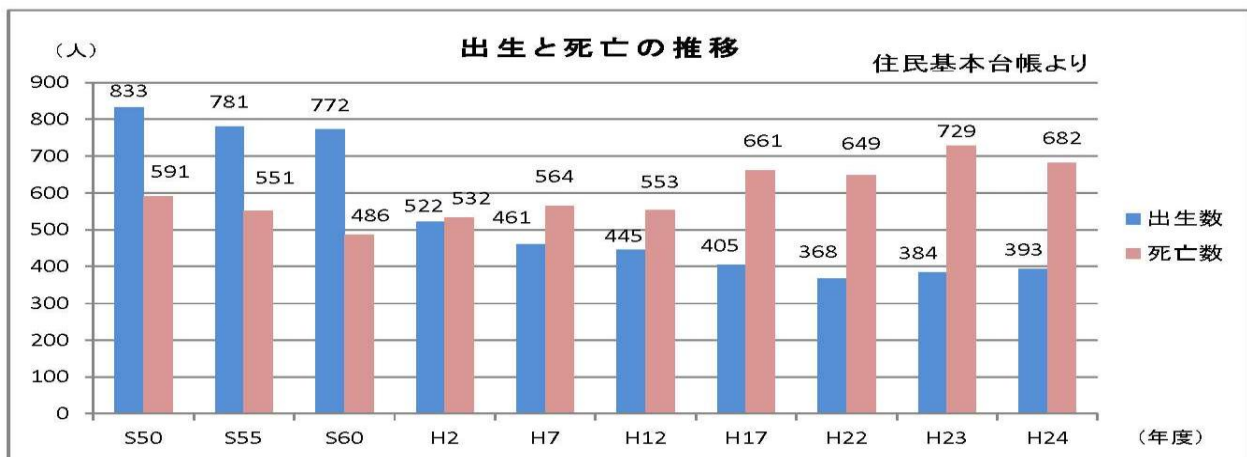
人口の縮減と少子高齢化は、国はもとより、本市の将来に深刻な問題を投げかけています。具体的には経済活動の低下による地域経済の低迷、困難になる地域コミュニティの維持、高齢化の進行に伴う社会保障費の膨張とそれを支える世代の負担の増加、道路整備等社会インフラ整備や維持補修における一人あたりのコストの増加等々、これらは、本市全体の疲弊をもたらし、更なる人口流出（減少）を導く、“負のスパイラル”を生み出すことにもつながります。



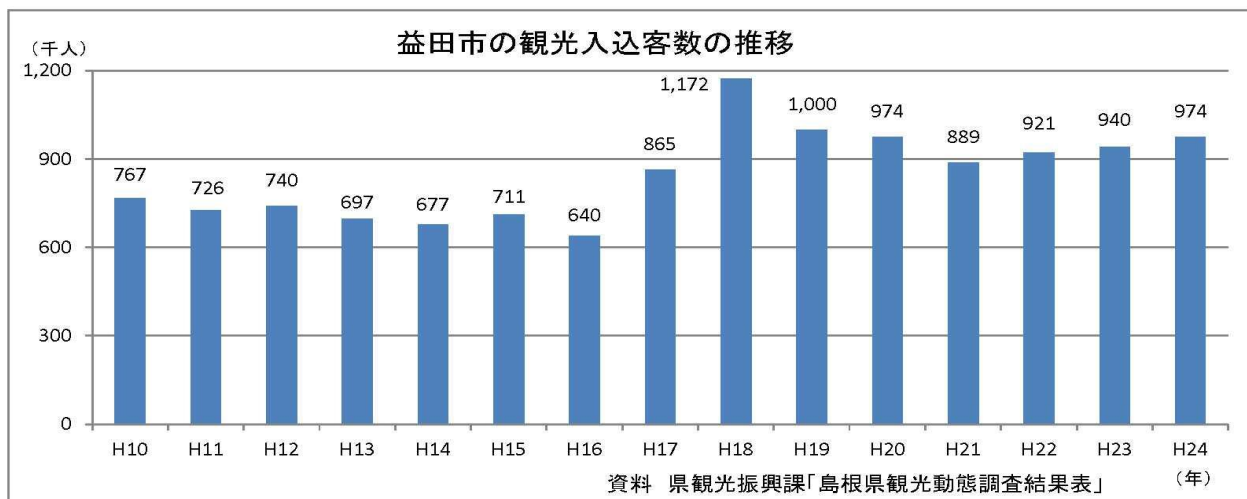
□本市の社会動態（転入・転出に伴う人口の動き）を見ると、一貫して転出者が転入者を上回っています。近年は移動者数自体が減少する中であって、転入者が徐々に増加する傾向にあります。



□自然動態（出生・死亡に伴う人口の動き）を見ると、出生数は40年前の約半数で、近年は400人弱で推移しています。死亡者は600人台で推移し、毎年300人前後の減少が続いています。



□交流人口に関する動向を観光入込客数で見ると、平成17年10月の島根県芸術文化センターグラントワの開館により平成18年に大きく伸びました。その後一たん減少したものの、平成21年度以降は徐々に増加しています。



## 2 人口拡大の必要性と目標設定

益田市は、市民の幸福追求、市政の安定的な持続のため、市の最重要施策として『人口拡大への挑戦』を掲げます。

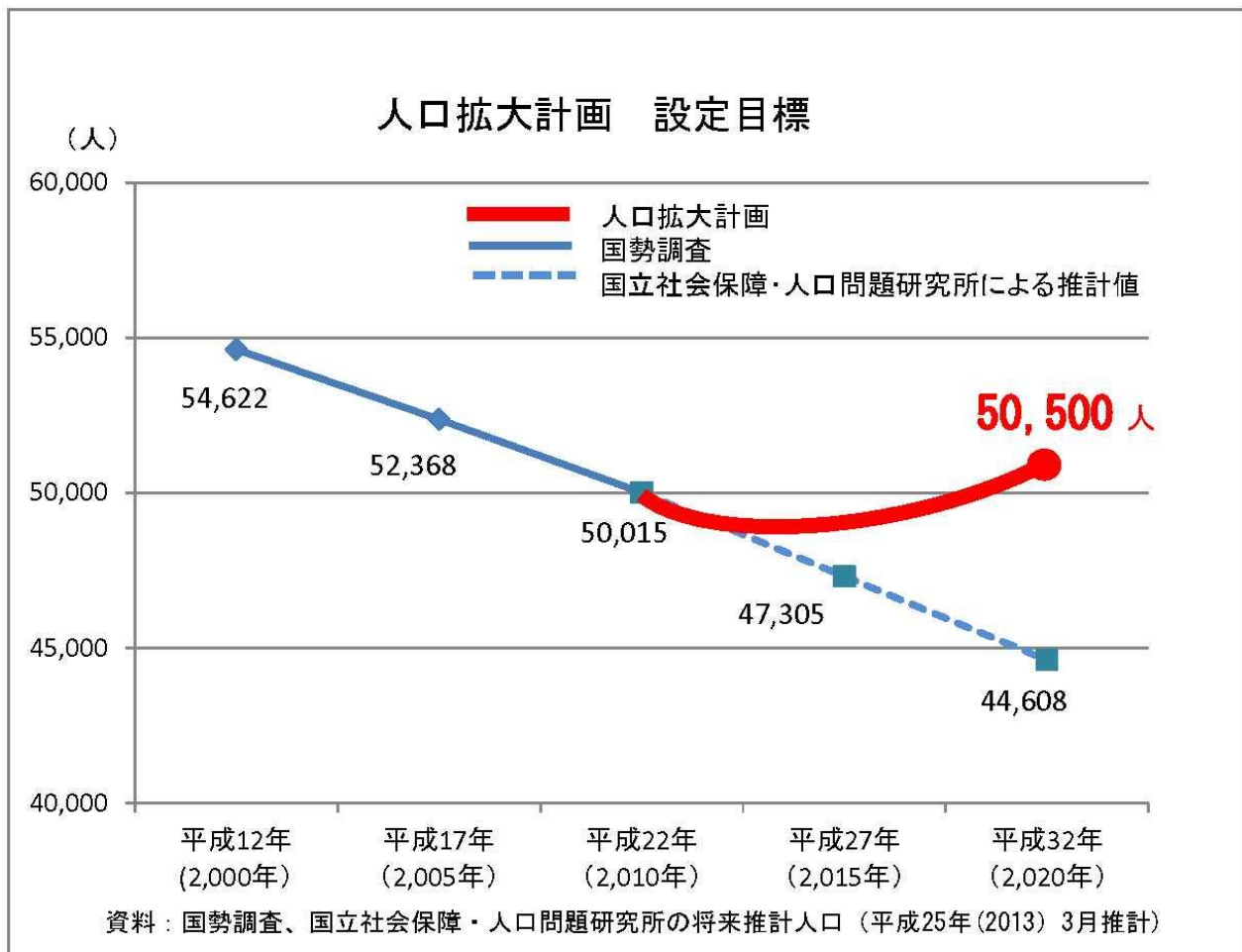
子育て世代が住みたくなり、子どもを産み育てたいと思えるまちづくりを進め、市が取り組む各施策の相乗効果を最大限に発揮し、人口減少に歯止めをかけ、人口増加に転ずることが最優先の課題です。

日本全体が人口縮減社会に突入した現在、人口を拡大することは大変困難な課題です。しかし、この困難な課題に挑戦し、希望に輝く明日の益田を切り拓いていかなければなりません。

**「人口拡大」は、未来への希望であり、益田市民に幸福をもたらす、地域再生の「キーワード」です。**

益田市は平成32年（2020年）の人口目標を

**50,500人** とします。



仮に定住による社会増だけで人口目標 50,500 人を達成しようとする、さらに毎年何組の定住を実現する必要があるのでしょうか？



地区	このまま推移すれば			毎年 <b>198</b> 組の 定住を実現すれば				
	2008 人口	2013 人口	2020 人口	③ 親子 ターン 増加組数	④ 若者 ターン 増加組数	⑤ 定年帰郷 増加組数	2020 (改善) 人口	対2013 増加率
益田	6,308	6,251	6,058	4	4	4	6,294	0.69%
吉田	13,928	14,145	14,150	5	5	5	14,441	2.09%
高津	9,145	8,846	8,182	12	12	12	8,863	0.19%
安田	4,152	4,013	3,754	5	5	5	4,034	0.52%
鎌手	1,972	1,863	1,703	3	3	3	1,877	0.75%
種	341	315	288	1	1	1	340	7.94%
北仙道	585	537	465	1	1	1	521	-2.98%
豊川	1,003	949	855	3	3	3	1,016	7.06%
真砂	452	406	334	1	1	1	390	-3.94%
西益田	4,604	4,308	3,812	8	8	8	4,261	-1.09%
二条	681	587	474	2	2	2	587	0.00%
美濃	425	378	324	1	1	1	376	-0.53%
小野	1,884	1,750	1,519	5	5	5	1,742	-0.46%
中西	2,242	2,086	1,834	4	4	4	2,108	1.05%
二川	308	256	218	1	1	1	282	10.16%
都茂	1,173	1,077	942	2	2	2	1,104	2.51%
東仙道	1,007	915	794	3	3	3	907	-0.87%
匹見上	1,056	889	692	3	3	3	855	-3.82%
匹見下	337	310	250	1	1	1	317	2.26%
道川	176	161	139	1	1	1	193	19.88%
合計	① 51,779	② 50,042	46,787	66	66	66	50,508	0.93%

島根県中山間地域研究センターの数値を基にして、2020年の地区別人口を推計しました。

- ①、②住民基本台帳人口（4月末現在）
- ③親子ターン：30代前半夫婦が4歳以下の子どもを連れてUIターン
- ④若者ターン：20代前半夫婦がUIターン
- ⑤定年帰郷：60代前半夫婦（定年退職者）がUIターン

試算では、毎年 198 組の定住を実現すると人口は 50,508 人となり、目標が達成されます。



### 3 計画の概要

平成 32 年（2020 年）の人口 50,500 人の達成に向け、平成 26 年度から 28 年度までの 3 年間を計画期間とします。

本計画では、人口拡大を「人口の社会増」、「人口の自然増」、「交流人口の拡大」の 3 つの要素に区分し、更に取組の方向性を 5 つの視点でとらえ、7 つの施策群に分類するとともに、全ての事業を重層的、効果的に機能させることにより人口拡大を実現します。

#### 《 コンセプトマップ 》

#### 社会増

##### ① 転入増を図る取組

☆地域の魅力を高め、Uターンを促進します。



##### ② 転出減を図る取組

☆企業誘致や事業者支援により、  
産業を振興し、雇用の創出に努めます。



☆高速交通網や住環境を整備し、安心安全で  
生活しやすいまちづくりを進めます。



#### 自然増

##### ③ 出生を促す取組

☆結婚から出産、育児を切れ目なく支え、  
子どもを産み、育てやすい  
環境の整備を図ります。



☆子どもの健やかな成長のため、  
教育環境の整備を図ります。



##### ④ 健康長寿を進める取組

☆医療体制の充実、健康づくりの応援を通じ、  
健康長寿のまちづくりを進めます。



##### ⑤ 交流人口拡大のための取組

☆豊かな自然や歴史・文化を活かし、  
観光振興、都市間交流などにより  
交流人口の拡大を図ります。



#### 交流人口拡大



本計画においては

とりわけ次の **《3つの切り口》** に力点をおきます。



## 子育て世代に手厚く！

子育て世代が住みたいとなり、子どもを産み育てたいと思えるまちづくりを進めるとともに、実際の出生率アップのため、医療費助成の拡充や学力向上に向けた取組、学校施設耐震化など、結婚から出産、子育て、教育に対する切れ目のない支援と環境整備に力を入れます。



## U I ターン大歓迎！

人口拡大の中でも即効性の高い転入増を促すため、U I ターン者に対する住まいへの支援策を新設、拡充します。また、雇用の場の確保に向け新規創業や事業拡大に対する支援を行うとともに、インフラ整備などによる暮らしやすい地域づくりに力を入れます。



## 中山間地域を元気に！

特に高齢化や人口減少が著しい中山間地域において、人々が安心して、生きがいを感じながら暮らしていけるとともに、市域が均衡ある発展をすることをめざして、中山間地域におけるコミュニティの維持と担い手確保に力を入れます。

## 4 施策の展開 ～主な施策・事業～



施策中に主に子育て世代の支援に密接につながる事業がある。



施策中に主にUIターンの支援に密接につながる事業がある。






施策中に主に中山間地域の支援に密接につながる事業がある。

### 《要素1：社会増》

#### 視点(1) 転入増を図る取組

#### 施策群①「地域の魅力を高め、UIターンを促進する施策」

施策	住まいへの支援	新規	拡充			
<p>益田市への定住を希望される方にとって、まず確保しないといけないのが生活の拠点となる「住まい」です。住まいに要する経費は大きな負担ですが、その一部を助成することで定住を希望される方を支援します。</p>						
<p>■UIターン者応援事業 <b>【新規】</b></p> <p>○市外在住者が益田市へ定住することを目的に、住宅を新築、改築、中古物件購入または賃貸住宅へ入居する場合に、その費用の一部を助成します。</p> <p>①新築・中古住宅購入支援 新築費用もしくは中古住宅購入費用の10%（補助限度額50万円）を3年間に分割して助成します。</p> <p>②賃貸住宅入居支援 家賃の3カ月分（補助限度額10万円）を3年間に分割して助成します。</p> <p>③実家改修支援 実家の改修費用の10%（補助限度額20万円）を3年間に分割して助成します。</p> <p>④実家居住支援 5万円を初年度のみ助成します。</p> <p>○また、定住者の状況や定住先に応じて次のような加算措置を設けます。</p> <p>★若者加算 世帯主が45歳未満の場合に定額を加算します。 上記①のとき5万円、②家賃1月分（限度額5万円）、③2万5千円、④2万5千円</p> <p>★親子加算 18歳以下の子どもと共に定住する場合に定額を加算します。 上記①～④共通、子ども1人につき2万5千円（2人までが対象）</p> <p>★中山間地定住加算 地区振興センターごとの高齢化率を基に5つのグループ分け、高齢化率が高いグループほど高い倍率を①～④の助成額に乘じ、その額を加算します。 A地区：加算無し、B地区：0.5倍、C地区：1倍、D地区：1.5倍、E地区：2倍 平成26年度～28年度の想定事業費：約7,000万円</p>						

(支援額の積算例：住宅を新築してUターンした家族の場合)

世帯主 40 歳、子ども 2 人、定住先：E 地区

支援基礎額 住宅新築 50 万円 (上記①の支援)

支援加算額 若者加算 5 万円 親子加算 2 万 5 千円×2 人=5 万円

中山間地定住加算 (E 地区) 50 万円×2 倍=100 万円

支援額合計 160 万円 (3 年間で分割交付)

### ■空き家バンク活用事業【拡充】

(1) 空き家バンク登録物件へ入居しようとする方に、その住宅改修費用の一部を助成します。

助成限度額 50 万円

(2) 空き家を所有する方が空き家バンクへ登録しやすいよう、家財の処分に係る費用の一部を助成します。

対象経費の 2 分の 1 以内 (助成限度額 5 万円)

(3) 空き家バンクに登録する物件について、固定資産税相当額を助成します。

助成限度額 5 万円

平成 26 年度～28 年度の想定事業費：約 1,500 万円

施策

暮らしへの支援



益田市では、ますだ暮らし相談員を配置し、U I ターンを希望される方への総合的な支援を行います。また、短期の田舎暮らし体験や、U I ターンされた方が農林水産業を体験できるよう支援します。さらに、就農を希望される方に対しては、相談から就農に至るまで継続した支援を行うことで農業経営の安定化と定住の支援を行います。

このほか、島根県への定住促進事業を総合的に取り組む「ふるさと島根定住財団」による職業紹介事業や産業体験事業等を活用し、ひとりでも多くの方が益田市に定住して頂けるよう努めます。

#### ■ますだ暮らし相談事業

ますだ暮らし相談員を配置し、U I ターン者の受入れから定住後のフォローまで、一貫したサポートを行います。

また、益田市へのUターンを呼び掛ける市長メッセージを、市民の皆様の友人、知人あてに送っていただく「ふるさと益田からの手紙」に取り組みます。

#### ■田舎暮らし体験推進事業 (田舎暮らし体験事業費、ひきみ田舎体験推進事業費)



定住情報誌発行、定住情報発信システムの運用により匹見の魅力を発信するとともに、ひきみ田舎体験推進協議会の活動を支援し、田舎体験、ボランティア事業を推進します。

#### ■就農給付金事業 (青年就農給付金事業費、中高齢就農給付金事業費)

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者や 45 歳以上 65 歳未満の給付要件を満たす就農者に対して、就農給付金を給付し、経営の安定化につなげます。

#### ■農林業担い手確保育成事業

就農希望者の産業体験や新規就農者の研修に対する費用を助成し、就農につなげます。

<p>施策</p>	<p>魅力ある地域づくり</p>	<p><b>新規</b></p>		
<p>それぞれの地域を活性化していくためには、住民のみなさんが地域内の仲間と協力し合って、自らの未来を切り拓くという積極的な姿勢が不可欠です。そしてそれを進めるには住民主体の地域運営の仕組みをつくることが重要です。</p> <p>また、それぞれの地域において、そこに住んでいる人たちが幸せを感じるだけでなく地域外の人たちも引き付けるまちとなるよう「地域の魅力化」を支援します。</p>				
<p>■地域自治組織設立支援事業</p> <p>住民主体の地域運営の仕組みである「地域自治組織」の設立を支援します。</p> <p>■地域魅力化プロジェクト事業 <b>【新規】</b></p> <p>それぞれの地域における、定住推進につながる特色ある取組を支援することで、「地域の魅力」を高めます。</p> <p>平成26年度～28年度の想定事業費：約2,900万円</p> <p>■地域魅力化応援隊員事業 <b>【新規】</b></p> <p>地域自治組織の設立や地域魅力化プロジェクト事業実施にあたって、それらを総合的に支援するとともに、その成果を活かすことで「地域の魅力化」を図るための地域魅力化応援隊員を配置します。</p> <p>平成26年度～28年度の想定事業費：約1億5,600万円</p>				




【二条地区の学習会の様子（地元学）】



## 視点(2) 転出減を図る取組

### 施策群②「企業誘致や事業者支援により、産業を振興し、雇用を創出する施策」


施策	起業・事業拡大への支援	新規	
<p>新規創業にチャレンジしようとする事業者や既存企業で設備投資等の事業拡大を計画する事業者に対して、その投資額の一部を支援することにより、新たな雇用を創出するなど起業や事業拡大を支援します。</p>			
<p>■産業創出協働事業 <b>【新規】</b></p> <p>地域の雇用の維持拡大に寄与する取組(新規創業、事業拡大)に対して、コンテストなどによる選定を行い、金融機関をはじめとする支援機関と連携して支援します。</p> <p>新規創業1件、事業拡大1件 補助率2分の1 限度額500万円</p> <p>平成26年度～28年度の想定事業費：約3,000万円</p> <p>■産業振興推進事業</p> <p>新分野に挑戦する企業を各種補助制度等により支援します。</p> <p>■産業人材育成支援事業</p> <p>研修を通じ在職者の技術力向上を図るとともに、企業と学校をコーディネートすることで、地元就職率の向上を目指します。</p> <p>■空店舗活用事業</p> <p>中心市街地における商業の活性化と中小企業の振興のため、空店舗を利用して起業、創業を行う事業者に対して事業費の一部を助成します。</p>			



【産業創出協働事業】



【石見臨空ファクトリーパーク】

施策	<b>企業誘致の推進</b> 
<p>産業振興と雇用の拡大に向け、石見臨空ファクトリーパーク等へ企業誘致を推進するため、誘致した企業への支援を行うとともに、企業訪問やPRなどを行います。</p>	
<p>■企業誘致推進事業（企業誘致推進事業費、県企業誘致対策協議会負担金）</p>	
<p>企業訪問をはじめとする企業誘致活動を実施するとともに、立地企業へのフォローアップ活動及び近畿地区企業立地セミナーを隔年で開催し、近畿・東海地域の企業に益田市のPR活動を行います。</p>	
<p>島根県及び県内市町村との情報交換を迅速に行い、地域及び工場用地の特性を活かした企業誘致を図ります。</p>	
<p>■益田市企業誘致立地促進補助事業</p>	
<p>島根県の立地計画の認定を受けている企業に対して、土地取得に対する助成や、一定額以上の投資を行った企業に対して、固定資産税相当額の助成を行います。</p>	
<p>土地の取得費の15%の額を助成します。</p>	
<p>土地・家屋・設備に係る固定資産税相当額を3年間助成します。</p>	
<p>■石見臨空ファクトリーパーク立地推進事業（石見臨空ファクトリーパーク拠点工業団地立地促進補助金、石見臨空ファクトリーパーク工業用水対策費、石見臨空ファクトリーパーク企業誘致促進協議会負担金）</p>	
<p>工業団地への企業立地を促進し、産業振興及び雇用の促進を図ることを目的として助成を行います。</p>	
<p>土地取得費の30%を助成します。</p>	
<p>新規雇用の従業員1人当たり100,000円を助成します。</p>	
<p>工業団地へ立地した企業の工業用水の一部を補助することで誘致企業の支援を行います。</p>	
<p>石見臨空ファクトリーパークの特性を活かした企業誘致の促進と益田圏域及び周辺地域における雇用の場の確保充実を図ります。</p>	
<p>■益田市ソフト産業促進補助事業</p>	
<p>島根県の立地計画の認定を受けている企業の内、ソフト産業を営む企業に対し、ソフト産業の振興と雇用の促進を目的として助成を行います。</p>	
<p>従業員1人当たり50,000円を6年間助成します。</p>	
<p>情報通信費の50%を5年間助成します。（補助限度額 年度当たり1,000万円）</p>	
<p>家賃（3.3平方メートル当たり10,000円を超える部分を除く）の3分の1に相当する額を1年間助成します。</p>	



【企業立地支援工場】



【匹見地区広高山わさび】



【森林施業】

施策

農林水産業の振興

新規

拡充



農林水産業、農山漁村は、安心安全で品質の確かな食料、木材などの安定供給をはじめ、国土や環境の保全、美しい景観形成など、多面的機能を通じて市民の健全で豊かな暮らしを支えています。

農業については、担い手の育成、確保や施設整備を支援することで、農村の維持と安定的な農業経営を目指します。林業については、木質バイオマス活用の可能性を探ります。水産業については、収入の安定化を図る取組を支援します。

■農林水産振興がんばる地域応援総合事業

農業における生産体制の強化、水稻、園芸、畜産等様々な営農分野における担い手の育成、確保のため、農業経営に必要な施設整備や調査研究に係る費用の一部を助成します。

■農業多面的機能維持事業（中山間地域直接支払事業費、農地・水保全管理支払交付金事業費、環境保全型農業直接支払事業費）

農業生産の維持を図りながら、農業が持つ「国土保全、水源かん養、自然環境保全、景観形成、文化の伝承」等の様々な機能を維持、確保することで、市民の生活や市の経済の安定を図ります。

■わさび振興事業（わさび振興事業費、わさび生産活動事業費）

「匹見わさび」の品質の向上を図るとともに、わさび生産農家や新規就農者等を支援することにより、生産振興とブランド化を推進します。

■産地づくり推進事業

「美都ゆず」を活用した新商品開発の検討や美都産苗木の導入試験など、生産、加工、販売にわたり総合的に振興対策を図るとともに、産地としてのブランド化を推進します。

■森林資源活用事業（森林資源・木質バイオマス活用事業費、匹見健康センターバイオマスボイラー導入事業費【新規】）

○豊かな森林資源、木質バイオマスを多面的に活用し、持続可能な域内循環の仕組づくりを構築するため、自伐林業の展開について検討を進めます。

○森林資源の新たな需要として、匹見峡温泉における木質バイオマスボイラーの導入を進めるとともに美都温泉への木質バイオマスボイラー導入を検討します。

平成 26 年度事業費：780 万円

■有害鳥獣対策事業【拡充】

鳥獣による農作物や人的被害を軽減、防止し、安心安全で暮らしやすい生活環境を守ります。


有害鳥獣対策専門員（1 名）配置 鳥獣被害対策実施隊を編成

平成 26 年度～28 年度の想定事業費：約 5,000 万円

■水産振興事業（水産多面的機能発揮対策推進事業費、水産振興協議会等負担金、水産振興費補助金）

水産資源を確保し、漁業者の収入の安定化に向け、関係機関と連携を図り、漁場環境の改善、経費削減のための省エネ実験、また近海で獲れた魚の差別化方策などの検討を行うとともに、「つくり育てる」漁業の推進に向けた支援を行うなど、魅力ある漁業の実現を目指します。

### 施策群③「高速交通網や住環境を整備し、安心安全で生活しやすいまちづくりを進める施策」

施策	高速交通網の整備促進	
<p>島根県や近隣自治体と連携し、産業振興や観光交流、「命の道」として救急搬送や大規模災害時の代替路の確保等に重要な役割を果たす、山陰自動車道「三隅・益田」間の早期開通と「益田・萩」間の早期事業化に向け、地域の気運を高めるとともに、萩・石見空港の利用拡大により地域の活性化を図ります。</p>		
<p>■山陰自動車道建設促進事業（国県事業推進負担金、国県事業推進経費）</p> <p>国や県の道路整備事業の促進のため、市民啓発を行うとともに、建設促進期成同盟会と連携し要望活動を行います。</p> <p>■萩・石見空港利用拡大促進事業</p> <p>空港利用圏域の市町、県、経済団体、その他関係者と一体となって、イン対策、アウト対策を重点的に取り組み、首都圏、関西圏からの利用者の拡大とともに、地元利用者の拡大を図ります。</p>		



【山陰自動車道の整備状況（平成 26 年 2 月現在）】



【萩・石見空港】



施策

## 生活交通網の整備促進



通学路や生活道路の安全対策や長寿命化を行うなど、道路環境の整備に努めます。また、地域に適した公共交通を確保し、市民生活の利便性の向上を図ります。

### ■通学路安全対策事業

平成 24 年度に各関係機関と実施した通学路緊急合同点検による通学路の危険箇所について、改修を実施し歩行者の安全を確保します。

### ■道路整備交付金事業

国道、県道や幹線市道等の間を連絡する幹線市道の 2 車線化を行い、アクセス路線として、あるいは主要道路の迂回路としての機能向上を図るとともに、沿線住民や通行者の安全を確保します。

### ■橋梁整備交付金事業

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急度の高い橋梁から年次的に改修を行い、通行者の安全を確保するとともに橋梁の長寿命化を図ります。

### ■地方交通対策事業（地方バス路線維持対策費補助金、生活バス事業費、乗合タクシー運行事業費、地域公共交通活性化自治会輸送活動支援事業費、過疎バス事業費、匹見地域福祉バス運行事業費、匹見地域福祉タクシー利用助成事業費）

生活交通路線として事業者が運行しているバス路線及び廃止代替措置として市が運行を委託しているバス路線を維持するため、その経常欠損額に対して補助を行います。

また、交通空白、不便地域の解消を図るため、生活バスや乗合タクシー等により、通院や買い物等、日常生活に必要な住民の移動手段を確保します。

さらに、地域の交通確保対策として、自治会が自主運営する「自治会輸送活動」を支援します。



【飯田吊橋修繕状況（H24 年度）】



【益田市生活バス：おでかけ号】



ゆずりあい  
【美都町二川自治会輸送：柚子り愛号】

**施策****住環境の整備促進**

中心市街地の道路整備や区画整理を進めるとともに、特色を活かした景観形成を図り美しいまちなみを創造します。また、住環境の充実と改善により、住みやすいまちづくりを進めます。

**■ 中心市街地整備事業（中心市街地整備事業費、都市計画沿道整備事業費）**

都市計画道路中島染羽線の整備に合わせ、市役所前交差点の集約改良により、本線及び市役所へのアクセスを改善し、交通の安全確保とともに周辺環境の整備を図ります。

都市計画道路元町人麿線・須子中線の整備を行い、地域間の交流、物流の促進や渋滞緩和を図ります。

**■ 土地区画整理事業（土地区画整理事業費、区画整理地維持管理事業費、益田川左岸南部地区土地区画整理調査事業費、土地区画整理事業特別会計）**

土地区画整理事業により、道路、公園等の公共施設を整備し、良好で住みよい市街地を形成するため、益田川左岸北部地区土地区画整理事業については、平成 27 年度末の完了に向け事業を推進するとともに、益田川左岸南部地区土地区画整理事業については、事業計画認可に向けた業務を実施します。

**■ 景観まちづくり事業（景観まちづくり事業費、景観計画策定経費）**

市民、企業、行政が一体となり、益田市の特色を活かした景観形成、保全を推進します。

**■ 地域住宅整備事業**

多様化する居住環境へのニーズに対応するため、益田市営住宅長寿命化計画に基づき住宅の建替や居住環境整備などを実施します。

**■ 公共下水道事業（公共下水道事業特別会計、都市下水路維持管理費、一般下水路整備事業費、一般下水路維持管理費）**

中心市街地や周辺地域の汚水処理対策及び浸水対策を実施し、快適な生活環境と安心安全な住環境整備を推進します。

**■ 合併処理浄化槽設置事業**

汚水の集合処理計画区域外の処理対策として、個人による合併処理浄化槽設置経費の一部を助成することにより浄化槽設置を促進し、水質保全及び住環境整備を図ります。



【益田川左岸北部地区土地区画整理地】



【景観まちづくり事業：小浜町の赤瓦の家並み】

施策

安心安全なまちづくり

新規



生活、交通安全対策や防災意識の啓発を進め、安心安全で暮らしやすいまちづくりを推進します。

■防災情報発信事業（防災情報提供システム整備事業費、防災行政無線管理運営費）

防災行政無線を補完するため、携帯電話等のメール機能を活用し、迅速かつ一元的に防災情報の提供を行います。

全市民に防災情報を提供するため、防災行政無線を適切に管理し、迅速かつ一元的に防災情報の提供を行います。

■地域防災力向上事業（防災訓練経費、自主防災組織運営事業費）

風水害、震災等から市民の生命、身体及び財産を守るため、平時からその準備を行い、災害に備える地域密着型の防災訓練を実施します。

住民同士が協力し、自発的に作られる防災組織（自主防災組織）の育成等、地域防災力の向上に努めます。

■交通安全推進事業（交通安全施設整備事業費、交通指導員経費）

交通事故防止のため、見通しの悪い交差点やカーブ、通行上危険な箇所について、カーブミラーやガードレール等を設置します。

市内各地での児童、生徒に対する街頭指導や地区ごとの交通安全推進のイベント等を行い、市民の交通安全意識を高めます。

■木造住宅耐震化促進事業

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断、補強計画、耐震改修を行う方に対し経費の一部を助成します。

■危険ため池修繕事業 **【新規】**

ため池の老朽箇所の応急整備や堤防の切り下げ、ため池の廃止や廃止に伴う排水路の整備を行い安全を確保します。

平成 26 年度事業費： 1,000 万円



【自主防災組織による避難訓練】




【防災ヘリによる救助訓練】

## 《要素2：自然増》

視点(3) 出生を促す取組


施策群④「結婚から出産、育児を切れ目なく支え、子どもを産み、育てやすい環境の整備を図る施策」

施策	縁結び支援	<b>新規</b>	
縁結びボランティアや関係団体との連携により、出会いの場の提供等、独身男女の結婚に向けた支援を行います。			
<p>■縁結び事業 <b>【新規】</b></p> <p>縁結びボランティア「島根はっぴいこーでいねーたー」や商工会議所等の市内各種団体と連携し、独身男女の出会いを応援します。</p> <p>イベント開催、相談員養成、セミナー開催等</p> <p>平成26年度～28年度の想定事業費：約300万円</p>			



【独身男女の食育クッキング教室】



施策	出産への支援	<b>新規</b>	
産科体制の充実に向けた支援を行うとともに、一般不妊治療に要する費用の一部を助成するなど、安心して子どもを出産できる環境を整備します。			
<p>■一般不妊治療費助成事業 <b>【新規】</b></p> <p>一般不妊治療自己負担金の一部を助成します。</p> <p>助成見込件数 上限 30,000円/年×10人</p> <p>平成26年度～28年度の想定事業費：約100万円</p> <p>■周産期医療維持・継続等支援事業</p> <p>市内で分娩を取り扱う医療機関に対し、周産期医療を維持、継続するために必要な研究費等の経費の一部を助成します。</p> <p>■産科医等確保支援事業</p> <p>市内でお産を支える産科医の処遇改善を通じて、急激に減少している産科医の確保を図るため、医療機関が医師に支給する分娩手当の一部を助成します。</p>			

施策

子育てしやすい環境づくり

拡充



子育てに関する経済的な負担の軽減や保育環境、放課後対策の充実など、安心して子育てのできる環境を整備します。

■乳幼児・児童医療費助成事業【拡充】（乳幼児等医療費助成事業費、児童医療費助成事業費）

乳幼児医療費の助成を小学校6年生までに拡大することにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、子ども達の疾病の早期発見及び早期治療につなげます。

対象 小学校就学前の乳幼児 医療費の1割相当を助成（自己負担1割）

小学校1年生から小学校6年生まで 医療費の2割相当を助成（自己負担1割）

上限、一医療機関につき、入院2,000円/月 通院1,000円/月

平成26年度～28年度の想定事業費：約4億5,000万円

■子ども・子育て支援推進事業

子ども・子育て関連3法の成立による保育制度等の改正に対応します。

■保育の質向上研修事業

市内の保育所等に勤務する職員や就労していない保育士資格取得者等を対象とした研修会を開催し保育の質の向上や潜在保育士の再就職につなげます。

■保育料軽減対策事業（私立認可保育所運営費補助金・幼稚園就園奨励費補助事業費）

認可保育所や私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担軽減のため、保育料の軽減や助成を行います。

■放課後児童対策事業（放課後児童対策事業費、児童福祉施設管理経費）

保護者が就労等により昼間家庭に居ない小学校低学年児童に、放課後の遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図るため放課後児童クラブを開設します。平成26年度は市内の放課後児童クラブへのAED設置を完了します。

■ハッピーアフタースクール事業

養護学校に通学する在宅障がい児の放課後や長期休暇期間の保護及び育成を行います。




【益田を体感する保育プログラム】  
～益田市保育研究会～



【放課後児童クラブ：めだかクラブ】

## 施策群⑤「子どもの健やかな成長のため、教育環境の整備を図る施策」

施策	教育施設の整備・充実	新規	拡充	
<p>学校施設の耐震化や改築を進めるとともに、安心安全な給食を提供する学校給食調理場の新築、改修を進め子ども達の健やかな成長を図ります。</p>				
<p>■学校施設耐震化事業 <b>【拡充】</b></p> <p>小学校、中学校の耐震化を進めます。</p> <p>平成 26 年度 設計 2 棟 性能判定 8 棟 工事 9 棟</p> <p>平成 27 年度 設計 1 棟 工事 7 棟</p> <p>平成 26 年度～27 年度の想定事業費：約 10 億 6,500 万円</p> <p>■学校建設事業 <b>【拡充】</b></p> <p>小学校、中学校の耐震化事業に伴う施設建替等を進めます。</p> <p>平成 26 年度 設計 6 棟</p> <p>平成 27 年度 設計 15 棟 工事 8 棟</p> <p>平成 28 年度 設計 7 棟 工事 5 棟</p> <p>平成 26 年度～28 年度の想定事業費：約 12 億 6,000 万円</p> <p>■学校給食センター整備事業</p> <p>(学校給食センター整備事業費、学校給食地産地消推進補助金 <b>【新規】</b>)</p> <p>○老朽化した益田市立学校給食共同調理場及び美都学校給食共同調理場をそれぞれ移転新築、改修し、衛生管理基準に適合した施設整備を行います。</p> <p>○学校給食への市内農産物等の使用時期拡大に向けた検討のため、益田市学校給食会及び美都学校給食会に対し、地元食材購入のための助成をします。</p> <p>平成 26 年度事業費：30 万円</p> <p>■学校図書館充実事業 <b>【拡充】</b> (学校図書館支援事業費、学校図書館図書整備事業費)</p> <p>読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用、運用を図るため、学校図書館司書や図書ボランティアを配置して、学校図書館の運営等を支援するとともに、図書の充実を図ります。</p> <p>平成 26 年度～28 年度の想定事業費：約 5,900 万円</p>				



【西益田小学校耐震化事業 (H25 年度)】



【高津学校給食センター (仮称) イメージ図】

施策

地域力を活かした学力向上

新規



地域ぐるみで子ども達の学力向上を図るとともに、ふるさと教育により子ども達の郷土愛を育みます。

■「<sup>や</sup>学び舎ますだ」事業【新規】

地域ぐるみで子ども達の学力向上を図るため、市内の小中学生の希望者に対し、地域の先生が授業を行う「学び舎ますだ」を開設します。

平成 26 年度事業費：(ゼロ予算事業)

■学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業

保護者や地域住民による学校教育支援活動や、小学生が放課後や休日を健やかに過ごすための様々な活動機会を提供する「放課後子ども教室」の実施とともに、家庭教育の支援活動を行います。

■学力向上連携推進事業

学力調査の分析を活かしながら、教職員の指導力を高め、児童生徒の学力の向上を図ります。外部講師を招へいた研修会を実施するなど、各学校の学力向上の取組に対して支援を行います。

■ふるさと再発見事業

ふるさと読本「益田ふるさと物語」や「ふるさと発見パスポート」及び「ふるさと体験プログラム」に基づいて、各学校が実施する体験授業等を支援します。

「益田ふるさと検定」を実施することにより、ふるさとの再発見につなげます。



【放課後子ども教室：ひとまる小野ハウス】



【益田ふるさと物語】

## 視点(4) 健康長寿を進める取組


### 施策群⑥「医療体制の充実、健康づくりの応援を通じ、健康長寿のまちづくりを進める施策」

施策	地域ぐるみの健康づくり	<b>拡充</b>
<p>「健康ますだ市 21 推進協議会」を推進母体として、地域ぐるみの健康づくりを応援します。また、市が実施する健康診査の内容を充実し、疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、いつまでも元気で暮らせるよう介護予防事業を推進します。</p>		
<p>■健康づくり市民運動推進事業（健康づくり市民運動推進事業費、食生活改善推進事業費）</p>		
<p>「健康ますだ市 21 推進協議会」を推進母体として、地域、各種団体、企業、行政が一体となった健康づくりを推進するとともに、「益田市食生活改善推進協議会」と連携し、健康づくりに欠かすことのできない健全な食生活の普及啓発を図ります。</p>		
<p>■成人保健対策事業</p>		
<p>健康教育、健康相談、がん検診、がん予防推進活動など総合的な健康管理を通して市民の生活習慣の改善、健康の保持増進を図ります。</p>		
<p>■特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）【<b>拡充</b>】</p>		
<p>国民健康保険の被保険者を対象に実施する健康診査の検査項目や内容を充実します。</p>		
<p>対象 40 歳～74 歳</p>		
<p>検査項目拡充 追加項目…クレアチニン、尿酸、貧血</p>		
<p>新規実施「簡易脳ドック」 30 人</p>		
<p>平成 26 年度～28 年度の想定事業費：約 700 万円</p>		
<p>■介護予防事業（介護保険特別会計）</p>		
<p>高齢者が要介護状態になることを防いだり、要介護状態にある人の悪化を防いだり、改善するための様々な事業を実施します。</p>		



【元気な体づくり：まめな教室】



<p>施策</p>	<p>医師や医学生等への支援</p>	
<p>益田の医療を守るための地域ぐるみの取組を推進します。医師をはじめとする医療従事者を支援するとともに、将来の地域医療を支える医学生、看護学生を応援します。また、島根県や島根大学と連携し、医師招へい活動を展開します。</p>		
<p>■地域ぐるみの医療推進事業（医療対策費補助金）</p> <p>「益田の医療を守る市民の会」と連携し、地域、各種団体、企業、行政、医療関係者が一体となり、益田の医療の厳しい現状を市民に分かりやすく伝えるとともに、市民と医療関係者や医学生、看護学生との意見交換会や国県への要望活動の実施など、地域医療を守る取組を推進します。</p> <p>■ドクターサポート推進事業</p> <p>医師不足の状況に歯止めをかけるため、益田市の医療を支える医師や、新たに赴任された医師をサポートするとともに、医師を目指す医学生を支援します。</p> <p>■秦佐八郎博士顕彰医学生奨学金事業</p> <p>地域医療に貢献したいという強い使命感を持ち、将来市内の医療機関等に勤務しようとする医学生に対し、奨学金の貸与を行います。（勤務実績により返還を免除します。）</p>		



【島根大学医学生（益田圏域出身者）との意見交換会 in 出雲】



【医療を守るための勉強会（主催：益田の医療を守る市民の会）】

施策

医療体制の充実

拡充



地域医療を守るため、公的病院としての役割を果たす益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院の運営を支援するとともに、第2次医療圏（益田圏域）の中核病院であり地域周産期母子医療センターである益田赤十字病院の新病院建設を支援します。

美都地域、匹見地域の国保診療所の運営とともに、匹見地域の歯科診療所を支援するなど、中山間地域の医療体制の堅持に努めます。

休日応急診療所の運営、第2次救急医療対策など、救急医療の確保と病院医師の負担軽減に努め、誰もが安心して医療が受けられる体制づくりを推進します。

#### ■公的病院支援事業

市内の公的病院である益田赤十字病院と益田地域医療センター医師会病院に対し、特別交付税の算定基準を基に、運営経費を補助します。

#### ■病院建設整備事業【拡充】（病院建設整備事業費補助金、新病院周辺整備事業費）

益田赤十字病院の新病院建設と周辺整備を支援します。

新病院…病床数 284 床 診療科 14 科 構造：地上 6 階建 RC 造・免震構造・屋上ヘリポート  
平成 27 年 10 月開院 平成 28 年 7 月全体整備終了 平成 28 年 4 月ヘリポート運用  
平成 26 年度～28 年度の想定事業費：約 25 億 9,000 万円

#### ■診療所運営事業（診療施設運営経費（国民健康保険特別会計）、歯科診療所管理経費）

中山間地域の医療体制を維持します。

（美都地域）美都診療所、二川出張診療所、東仙道出張診療所

（匹見地域）澄川診療所、道川診療所

匹見地域の歯科医療体制の維持、継続のため管理経費を助成します。

#### ■休日応急診療事業

休日の救急診療を要する患者に応急的な診療を行い、初期救急の確保と病院の救急外来の患者数減を図ります。

#### ■健康医療電話相談事業

健康や医療について、医師、保健師、看護師による 24 時間無料の電話相談サービスを実施します。

#### ■第2次救急医療対策事業

益田圏域の休日、夜間の病院救急体制の維持のため、圏域内の第2次救急告示病院に対し、益田市、津和野町、吉賀町、萩市が協約に基づき運営補助金を交付します。

対象：益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院



【新益田赤十字病院 イメージ図】




【唐音水仙公園】

## 《要素3：交流人口拡大》

### 視点(5) 交流人口拡大のための取組

#### 施策群⑦「豊かな自然や歴史・文化を活かし、観光振興、都市間交流などにより交流人口の拡大を図る施策」

施策	観光振興と多様な交流の推進	新規	
<p>益田市が全国に誇る歴史・文化や豊かな自然等の観光資源を活かした誘客に努めるとともに、スポーツ大会やコンベンションを開催または誘致し、交流人口の拡大を図ります。また、大阪府高槻市、豊中市や神奈川県川崎市など友好・姉妹都市とのスポーツや自然体験などを通じた交流を推進します。</p>			
<p>■観光振興事業（観光振興事業費、観光振興団体補助金、観光振興事業費補助金） 観光協会や商工団体、市民ボランティア等と連携し、石見神楽や糸操り人形等の伝統文化、雪舟と柿本人麿、中世益田氏関連遺跡、高津川に代表される豊かな自然や豊富な食材等、益田市が全国に誇る様々な観光資源を活かし、誘客に努めます。</p>			
<p>■コンベンション・スポーツ全国大会誘致事業【新規】 会議、学術研修、定期総会などの全国規模で開催される大会を益田市に誘致するため、誘致に向けた各種取組を島根県や関係団体との連携により積極的に推進します。 また、県外からの交流人口拡大を図るため、益田市既存のスポーツ施設を活かしたサッカーやグラウンド・ゴルフなどの全国大会を開催します。 平成26年度事業費：270万円</p>			
<p>■都市交流推進事業 大阪府高槻市、豊中市や神奈川県川崎市など、多方面で交流が進む都市とのさらなる交流を深めます。</p>			
<p>■少年スポーツ都市交流事業 友好・姉妹都市と益田市の子ども達がスポーツを通じた交流を深めます。</p>			
<p>■誘客推進事業 美都町内の温泉施設、スポーツ・文化施設を利用した合宿や大会の誘致により県内外から誘客を進め、施設の利用促進、特産品のPRなど地域経済の活性化を図ります。</p>			
<p>■萩・石見空港マラソン全国大会開催 全国で唯一滑走路を走ることのできる萩・石見空港マラソン全国大会を開催します。 第7回大会 平成26年10月19日開催予定（第6回大会参加者3,179名）</p>			



【石見神楽】



【匹見峡】



【さくらドーム】



【萩・石見空港マラソン全国大会】

施策

歴史を活かしたまちづくり

新規

益田が歴史上最も栄えた中世の輝きを現代に再生し、次なる繁栄の糸口とするとともに、研究者や観光客の流入を促すため、史跡の保存活用と調査研究を進めます。

■歴史を活かしたまちづくり推進事業

市内に残る歴史・文化遺産を活用し、観光振興や地域活性化につなげるための歴史文化基本構想の策定に向けて人材育成、普及啓発、記録作成、調査研究等の事業を進めます。また、整備計画の策定を視野に入れ、史跡益田氏城館跡の望ましい将来像を地域住民と考えるワークショップを開催します。

■中世益田氏関連整備事業（中須東原遺跡整備事業費、益田氏城館跡整備事業費、益田氏城館跡等遺跡調査事業費、文化財調査研究事業費）

『中須東原遺跡整備基本計画』を策定し、史跡の適切な管理、保存に努めるとともに、引き続き調査研究に取り組みます。また、史跡に対する市民の関心を深めるため、将来の活用策を市民と考えるワークショップを開催します。

中世益田氏の館跡である三宅御土居跡の保存、活用を図るため、寺院墓地の移転と公有地化を進めます。

中世港湾沖手遺跡の範囲及び内容確認の調査を行います。

■益田家文書里帰り展開催事業 **【新規】**

中世益田氏の支配領域、城館に関する益田家文書原本の展覧会を開催します。この展覧会は、平成26年度から平成28年度にかけて実施する東京大学史料編纂所、島根県古代文化センター、益田市歴史文化研究センターとの共同研究の成果発表として平成29年度に開催を予定する中世石見国・益田をテーマとした企画展に先駆けて行います。

平成26年度事業費：150万円



【中世三宅御土居 想像図】

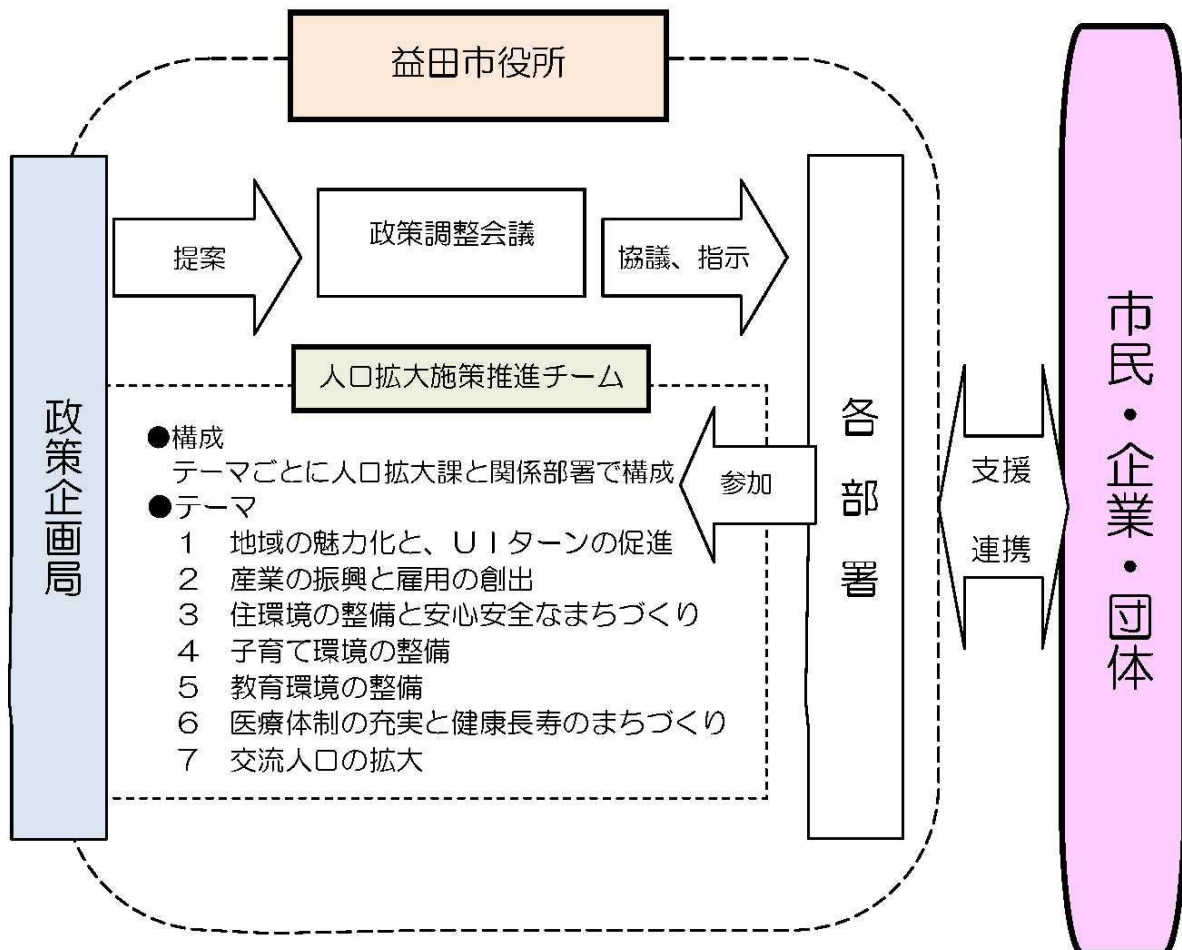


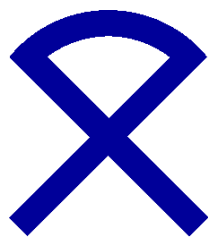
【中世中須湊 想像図】

## 5 計画の推進体制

平成 26 年 4 月、益田市に政策企画局人口拡大課を設置し計画推進の司令塔とします。計画の推進と目標の達成に向け、人口拡大につながる 7 つの施策群ごとに重点課題を定め、実効性のある施策展開を図ります。

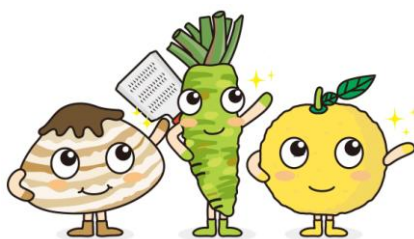
また、人口拡大に向け新設、拡充した数々の施策や益田市が全国に誇る様々な地域資源の発信に努めます。





益 田 市

「ますだ暮らしキャラクター」



ぐりお（鴨島はまぐり）・わさまる（匹見わさび）・ゆずりん（美都ゆず）